

プログラム

第 1 日 11 月 12 日 (木)

11月12日(木) A会場(2F コンベンションホール1)

開会式 会長 松尾 孝之

8:50 ~ 9:00

シンポジウム1 内視鏡・外視鏡手術の若手術者の育成：教育①

9:00 ~ 10:20

座長 木内 博之(山梨大学医学部附属病院)
齊藤 延人(東京大学脳神経外科)

S1-1 内視鏡下第3脳室底開窓術の全国実態調査の結果と今後の展望
- 神経内視鏡手術標準化の取り組み -

自治医科大学とちぎ子ども医療センター 三輪 点

S1-2 鏡視下手術における映像注釈システムを用いた手術指導

杏林大学医学部脳神経外科 田中 洋次

S1-3 脳室壁との接触を可視化可能にした神経内視鏡トレーニングシステムの開発

東邦大学医学部脳神経外科学講座(大森) 栄山 雄紀

S1-4 同時双方向型遠隔通信システムを用いた内視鏡・外視鏡手術における手術教育 DX

順天堂大学医学部脳神経外科 寺本紳一郎

S1-5 Digital・3Dモデル・Cadaver・実手術をつなぐ段階的教育プラットフォームの構築

東京慈恵会医科大学脳神経外科 渡邊健太郎

S1-6 神経内視鏡手術の第一歩をどう育てるかー硬膜縫合モデルによる技能向上と主体的学習ー

産業医科大学脳神経外科 井上 雅皓

S1-7 教育と安全性向上のための内視鏡下の ICG の意義

北里大学医学部脳神経外科 秀 拓一郎

S1-8 神経内視鏡技術認定“後”の教育を考えるーDa Vinci 手術教育から学ぶー

仙台市立病院脳神経外科 川口 奉洋

シンポジウム2 内視鏡・外視鏡手術支援機器の工夫、開発

10:25 ~ 11:45

座長 岡 秀宏(北里大学メディカルセンター)
荒川 芳輝(京都大学医学部脳神経外科)

S2-1 神経内視鏡手術における機器開発と工夫

名古屋大学脳神経外科 竹内 和人

S2-2 機器干渉を抑える新たな内視鏡 Dual-articulating Rigid Endoscope の開発

名古屋市立大学医学部脳神経外科 藤浪 亮太

S2-3 経鼻内視鏡下手術における先端操作性を有する手術支援器具の有用性：
391例の自験例に基づく検討

大阪脳神経外科病院 谷口 理章

S2-4 術者の立体視能力からみた現行 3D 神経内視鏡表示システムの有用性と改善点

長崎大学医学部脳神経外科 松尾 彩香

S2-5 ORBEYE 焦点深度モードの盲点：被写界深度から考える外視鏡手術戦略

香川大学医学部脳神経外科 小川 大輔

S2-6 経鼻内視鏡下頭蓋底手術におけるダイヤモンドドリルから SONOPET iQ への移行
— 単独デバイスとしての可能性と残された課題 —

横浜医療センター脳神経外科 鈴木 幸二

S2-7 内視鏡下水中手術における視認性向上の機序と臨床応用

藤田医科大学医学部脳神経外科 西山 悠也

S2-8 MRI 信号値によるトルコ鞍底再建における DuraGEN の組織成熟過程の可視化

産業医科大学脳神経外科 鈴木 恒平

ランチョンセミナー 1

11:55 ~ 12:55

座長 阿久津博義（獨協医科大学 脳神経外科）

Opening Remarks 頭蓋咽頭腫患者の視床下部性肥満について

獨協医科大学 脳神経外科 阿久津博義

LS1 頭蓋咽頭腫の治療ゴールを再考する
— 後天性視床下部性肥満と長期 QOL —

鹿児島大学病院 脳神経外科 藤尾 信吾

共催：リズムファーマ株式会社

社員総会

13:05 ~ 13:35

シンポジウム 3 内視鏡・外視鏡手術の新たな展開（next stage）：
傍鞍部、ロボット

14:00 ~ 15:40

座長 西岡 宏（虎の門病院間脳下垂体外科）

戸田 正博（慶應義塾大学医学部 脳神経外科）

S3-1 海綿静脈洞に浸潤した下垂体部腫瘍に対する経蝶形骨内視鏡下手術戦略

東京女子医科大学脳神経外科 天野 耕作

S3-2 海綿状脈洞浸潤腫瘍に対する経鼻内視鏡手術の拡大と限界

筑波大学医学医療系脳神経外科 木野 弘善

S3-3 内視鏡下経鼻トルコ鞍外側進展腫瘍摘出時における外眼筋モニタリングの後方視的検討

群馬大学医学部脳神経外科 山口 玲

S3-4 Transpterygoid approach を併用した海綿静脈洞および錐体骨先端部病変に対する
経鼻内視鏡手術

北海道大学脳神経外科 伊師 雪友

S3-5 海綿静脈洞髄膜腫治療の Next Stage :
内視鏡手術をハブとした定位放射線治療・分子診断の戦略的統合
埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科 長谷川洋敬

S3-6 VISSE technique を用いた Transfundibular Craniopharyngioma に対する経鼻
内視鏡手術
獨協医科大学脳神経外科 森永 裕介

S3-7 症候性ラトケ嚢胞に対する前方拡大法を用いた広範囲嚢胞開窓術の診断的・治療的有用性
熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座 植川 顕

S3-8 Da Vinci Sp における脳神経外科応用への挑戦：
経口頭蓋底到達法におけるロボット支援の技術的確立
藤田医科大学医学部脳神経外科 武藤 淳

S3-9 鞍結節部髄膜腫の手術アプローチ選択と治療成績と経口ロボット支援手術の next
stage に向けて
藤田医科大学医学部脳神経外科 武藤 淳

S3-10 Superolateral orbitotomy と supraorbital craniotomy の併用による lateral transorbital
approach の最大化—解剖学的有用性と将来的応用—
九州大学脳神経外科 三月田祐平

シンポジウム 4 内視鏡・外視鏡下血腫除去術の実践、新たな試み

15:40 ~ 17:30

座長 中尾 直之（和歌山県立医科大学脳神経外科）
渡邊 督（愛知医科大学脳神経外科）

S4-1 世界は日本の血腫除去術が統計学的に有意な結果を証明することを欲している
東船橋病院脳神経外科 村井 尚之

S4-2 表層進展型脳皮質下出血に対する内視鏡下血腫除去術
—偏心性アプローチによる摘出率向上の工夫—
※オンデマンド配信なし
岐阜大学脳神経外科 庄田 健二

S4-3 神経内視鏡下血腫除去術における治療困難例の予測と対策
社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院脳神経外科 徳重 一雄

S4-4 内視鏡下脳内血腫除去術における予後因子の検討
※オンデマンド配信なし
新潟市民病院脳神経外科 中村 公彦

S4-5 脳内出血に対する開頭血腫除去術と内視鏡的血腫除去術の比較
蘇生会総合病院脳神経外科 五味 正憲

S4-6 硬性鏡単独による脳室内出血に対する Complete Hematoma Evacuation への挑戦
※オンデマンド配信なし
和歌山県立医科大学脳神経外科 矢本 利一

S4-7 血管造影カテーテルを応用した軟性鏡下脳室内血腫除去術の新たな試み
福岡赤十字病院脳神経外科 山城 慧

S4-8 脳室内出血に対する神経内視鏡下血腫除去術の有用性
- 自施設における 10 年の手術症例を振り返る -
東京女子医科大学附属足立医療センター脳神経外科 富永 禎弼

S4-9 脳室内出血に対して、内視鏡血腫除去術と脳室ドレナージ術の比較検討
島根大学医学部脳神経外科 神原 瑞樹

S4-10 鋳形状脳室内出血における第四脳室内血腫摘出を行うための工夫と有効性の検討
群馬大学医学部脳神経外科 山口 玲

S4-11 CFD を用いた神経内視鏡下手術における水中術野の灌流方法の検討
慶應義塾大学医学部脳神経外科 高原 健人

シンポジウム 5 頭蓋底手術：内視鏡・外視鏡手術の拡大と限界 17:35 ~ 18:55

座長 森田 明夫（東京労災病院）
日宇 健（長崎大学医学部脳神経外科）

S5-1 内視鏡下 Simplified anterior transpetrosal approach における到達範囲の検討
慶應義塾大学医学部脳神経外科 高原 健人

S5-2 三叉神経鞘腫に対する内視鏡手術の適応とアプローチ選択について
大阪市立総合医療センター脳神経外科 森迫 拓貴

S5-3 小開頭内視鏡下硬膜外前経錐体到達法（Endoscopic Kawase's approach）を用いた錐体尖部髄膜腫の手
大阪公立大学脳神経外科 長濱 篤文

S5-4 後頭蓋窩進展髄膜腫に対する個別化内視鏡下頭蓋底手術：
経鼻・小開頭アプローチの拡大と限界
埼玉医科大学総合医療センター脳神経外科 長谷川洋敬

S5-5 内視鏡主体の外側後頭下開頭による後頭蓋窩・頭蓋底腫瘍摘出術
帝京大学医学部脳神経外科 宇野 健志

S5-6 内視鏡下経鼻手術の適応拡大と限界—解剖学的部位に基づく surgical corridor 選択—
千葉大学医学部脳神経外科 堀口健太郎

S5-7 正中頭蓋底領域発生の髄膜腫に対する経鼻内視鏡手術の拡大と限界
久留米大学医学部脳神経外科 坂田 清彦

S5-8 石灰化を伴う頭蓋底軟骨肉腫に対する経鼻内視鏡摘出術：安全な摘出限界とは
帝京大学医学部脳神経外科 今里 大介

シンポジウム6 内視鏡・外視鏡手術の新たな展開 (next stage) : グリオーマ、てんかん

9:00 ~ 10:20

座長 上羽 哲也 (高知大学医学部脳神経外科)
園田 順彦 (山形大学医学部脳神経外科)

S6-1 分子診断時代における深部グリオーマに対する神経内視鏡生検術の有用性と課題

東京医科大学脳神経外科 深見真二郎

S6-2 "Intra-Axial tumor" に対する内視鏡下生検術の有効性と安全性

杏林大学医学部脳神経外科 酒井 亮輔

S6-3 脳深部実質病変に対する神経内視鏡下生検の有用性: 16例の臨床的解析

関西医科大学脳神経外科 李 一

S6-4 Tubular retractor を用いた深部病変摘出術における外視鏡・内視鏡の役割と手術戦略

杏林大学医学部脳神経外科 齊藤 邦昭

S6-5 脳実質内腫瘍に対するチューブレトラクターと内視鏡保持アームを用いた内視鏡下脳腫瘍摘出術の有用性

東京都立多摩総合医療センター脳神経外科 荻原 雅和

S6-6 内視鏡単独経皮質選択的海馬扁桃体摘出術
—Coin-sized craniotomy による低侵襲手術手技と初期成績—

大阪公立大学脳神経外科 宇田 武弘

S6-7 てんかん外科と 3D 外視鏡手術の親和性 - 手術手技の標準化と次世代術者の育成 -

長崎大学医学部脳神経外科 馬場 史郎

S6-8 てんかん外科における神経内視鏡・外視鏡手術の適応と有用性

藤田医科大学医学部脳神経外科 中江 俊介

シンポジウム7 脊椎脊髄内視鏡・外視鏡手術の展望

10:25 ~ 11:15

座長 菅原 卓 (秋田県立循環器・脳脊髄センター脊椎脊椎外科)

S7-1 腰椎疾患に対する内視鏡・外視鏡手術の適応と新たな展開

医療法人ニューロスパイン うちかど脳神経外科クリニック 内門 久明

S7-2 当院における内視鏡・外視鏡脊椎手術の現状と臨床応用

順天堂大学医学部脳神経外科 牧野 健作

S7-3 脊髄内視鏡手術の Variation と解剖病態に応じた手術手技の検討

大阪南医療センター脳神経外科 新 靖史

S7-4 腰椎分離すべり症に対する intra LIF system を用いた UBE-TLIF の治療成績

福岡脊椎クリニック 津田 圭一

S7-5 トップアスリートの腰椎疾患に対する full-endoscopic spine surgery :
プロサッカー選手 4 例の検討

徳島大学整形外科 原 毅

ランチョンセミナー 2 時代は Tailor-made Skull Base Reconstruction

11:55 ~ 12:55

座長 渡邊 督 (愛知医科大学病院 脳神経外科)

LS2-1 内視鏡下経鼻的下垂体腫瘍の手術手技と頭蓋底閉鎖のコンセプト

虎の門病院 間脳下垂体外科 登坂 雅彦

LS2-2 内視鏡下経鼻的手術における髄液漏予防—頭蓋底閉鎖法の進歩と教育—

日本医科大学武蔵小杉病院 脳神経外科 田原 重志

共催：村中医療器株式会社／帝人メディカルテクノロジー株式会社

シンポジウム 8 内視鏡・外視鏡手術の若手術者の育成：教育②

14:00 ~ 15:40

座長 周郷 延雄 (東邦大学医学部脳神経外科学講座 (大森))
黒崎 雅道 (鳥取大学医学部脳神経外科)

S8-1 4-hands TSS による次世代の術者教育：
頭蓋咽頭腫に対する経鼻内視鏡手術における術者育成についての考察

ベルランド総合病院脳神経外科 石橋 謙一

S8-2 Usefulness of the 4-hands technique by two neurosurgeons in endoscopic
endonasal skull base surgery

Department of Neurosurgery, Osaka metropolitan university HAZUNGA RAYFORD

S8-3 経鼻内視鏡手術における技術の継承と育成—若手医師の独立した術者への成長ステップ

奈良県立医科大学脳神経外科 西村 文彦

S8-4 耳鼻咽喉科との協働と Off-the-job training による内視鏡下経鼻手術教育
—The Next Stage を担う術者育成システム—

東京慈恵会医科大学脳神経外科 石井 雄道

S8-5 京都大学における内視鏡・外視鏡手術の若手育成

京都大学医学部脳神経外科 荒川 芳輝

S8-6 内視鏡下脳内血腫除去術における術式の標準化と術中指導の初期成績

鈴鹿回生病院脳神経外科 芝 真人

S8-7 ORBEYE を活用した脳血管外科手術教育—若手術者育成における現状と課題—

埼玉医科大学国際医療センター脳神経外科 前田 拓真

S8-8 外視鏡血管外科手術におけるセットアップの標準化 - 対面式 4-hands surgery の有用性 -

大阪公立大学脳神経外科 一ノ瀬 努

S8-9 3D 外視鏡下脳神経外科手術における助手協働性の定量評価法の構築

長崎大学医学部脳神経外科 日宇 健

S8-10

外視鏡による俯瞰視点を活用した経鼻内視鏡手術手技の若手術者教育
～ 2 hands 片側鼻腔アプローチ術者の場合～

日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科 能中 陽平

スポンサーセミナー MCI・認知症診療について（特発性正常圧水頭症を含めて）

15:45 ～ 16:45

座長 松尾 孝之（長崎大学脳神経外科）

SS

脳神経外科医が遭遇する MCI 診療の実際～レカネマブの使用経験を含めて～

医療法人慈風会 厚地脳神経外科病院 厚地 正道

共催：エーザイ株式会社／バイオジェン・ジャパン株式会社

一般演題 1 間脳下垂体系病変：視床下部性肥満

16:50 ～ 17:25

座長 堀口健太郎（千葉大学医学部附属病院 脳神経外科）

O1-1

経鼻内視鏡頭蓋咽頭腫手術における内分泌視床下部障害：
リスク因子の解明と subpial dissection による機能温存

横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科学 本郷 剛

O1-2

日本での後天性視床下部性肥満の診療実態に関する脳神経外科医の認識

鳥取大学医学部 脳神経医科学講座 脳神経外科学分野 黒崎 雅道

O1-3

Recognising the burden of acquired hypothalamic obesity in craniopharyngioma:
cross-country insights from lived experiences to support integrated care across all life
stage

Princess Maxima Center for Pediatric Oncology, Utrecht, the Netherlands van Santen Hanneke M.

O1-4

Setmelanotide in Acquired Hypothalamic Obesity:
Phase 3 TRANSCEND Study Japanese Results

Nagoya City University Hospital, Nagoya, Japan Tanaka Tomohiro

一般演題 2 脳実質内病変：蛍光診断

17:30 ～ 18:30

座長 大山 健一（国際医療福祉大学三田病院 脳神経外科）
竹内 和人（名古屋大学脳神経外科）

O2-1

高悪性度神経膠腫に対する 5-ALA ガイド下外視鏡手術の有用性
—特に造影病変摘出度について—

京都大学医学部脳神経外科 高田 茂樹

O2-2

外視鏡下 Glioma 手術における 5-ALA 誘導蛍光の視認性—手術顕微鏡との比較—

東京科学大学脳神経外科 清水 一秀

O2-3

深部膠芽腫に対する低侵襲内視鏡下摘出術

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター脳神経外科 森 良介

O2-4

腫瘍様脱髄病変に対する 5-ALA 蛍光ガイド下内視鏡的生検術の 1 例

東京慈恵会医科大学脳神経外科 小関 宏和

○2-5 脳実質内腫瘍に対する術中蛍光イメージングの視認性を高める工夫

岐阜大学脳神経外科 大江 直行

○2-6 ICG 内視鏡を用いた脳実質内腫瘍の術中蛍光診断

高知大学医学部脳神経外科 川西 裕

○2-7 機能性 PitNET に対する術中近赤外線蛍光法の有用性

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科 牧野隆太郎

一般演題3 水頭症①

9:00～10:00

座長 赤井 卓也(金沢脳神経外科病院)

○3-1 晩発性特発性中脳水道狭窄症に対する水頭症治療

大阪医科大学脳神経外科・脳血管内治療科 亀田 雅博

○3-2 成人の良性病変による二次性中脳水道狭窄と内視鏡的治療

公立能登総合病院脳神経外科 喜多 大輔

○3-3 神経線維腫症1型に合併した中脳水道膜様閉塞による非交通性水頭症の1例

東京慈恵会医科大学脳神経外科 廣津 竜也

○3-4 神経サルコイドーシスによる閉塞性水頭症に対する内視鏡的第三脳室開窓術：症例報告および文献的考察

大阪医科大学脳神経外科・脳血管内治療科 井畑 知大

○3-5 頭痛で発症した adolescent-onset aqueductal stenosis に対し神経内視鏡手術が奏功した2例

九州医療センター脳神経外科 雨宮 健生

○3-6 23年間VP shuntに依存した中脳水道狭窄症にETVが奏功しDWI-ALPS indexを評価した1例

南長野医療センター篠ノ井総合病院脳神経外科 黒岩 正文

○3-7 脳室拡大を伴わないシャント機能不全に対し第3脳室底開窓術が有効であった軟骨無形成症の一例

東京慈恵会医科大学脳神経外科 野中雄一郎

一般演題4 水頭症②

10:05～11:05

座長 木下 康之(広島大学 脳神経外科)

○4-1 脳室鏡における第三脳室後半部の解剖についての検討

筑波大学医学医療系脳神経外科 室井 愛

○4-2 小児水頭症における第3脳室の解剖学的バリエーションとETVの手術戦略

千葉県こども病院脳神経外科 安藤 亮

○4-3 第三脳室底開窓術における"Folding sign"の臨床的有用性—長期成績を踏まえた術中評価法の再検討—

東京女子医科大学脳神経外科 千葉謙太郎

○4-4 乳幼児水頭症に対するETV+CPC後の髄液排水管理—3症例の経験—

神奈川県立こども医療センター脳神経外科 海野 光祐

○4-5 中脳水道開存型 LOVA に対する ETV は第一選択となり得るか？

中村記念病院脳神経外科 石田 裕樹

○4-6 4D-flow MRI による脳脊髄液滯留障害の治療評価

滋賀医科大学脳神経外科 河野 浩人

○4-7 スtent併用第三脳室底開窓術の有用性と課題
stent 抜去症例から考える

千葉大学医学部脳神経外科 小林 正芳

ランチョンセミナー 3

11:55 ~ 12:55

座長 松尾 孝之（長崎大学脳神経外科）

LS3 腰部脊柱管狭窄症の薬物治療と低侵襲手術の最新知見

秋田県立循環器・脳脊髄センター 脊髄脊椎外科 菅原 卓

共催：第一三共株式会社

一般演題 5 手術支援

14:00 ~ 15:15

座長 谷口 理章（大阪脳神経外科病院）

浅野研一郎（弘前大学大学院医学研究科 脳神経外科）

○5-1 巨大松果体部腫瘍に対する内視鏡支援治療戦略
—磁場式ナビゲーションによる軟性鏡下生検と外視鏡下 occipital trans-tentorial approach の有用性—

南福岡脳神経外科病院 脳神経外科 上田 隆太

○5-2 手術シミュレーション用 3 次元画像作成のタスクシフト

寺岡記念病院脳神経疾患治療センター 小池 司

○5-3 後頭蓋窩腫瘍に対するヘッドマウントディスプレイを使用した外視鏡手術

小倉記念病院脳卒中センター脳神経外科 梅村 武部

○5-4 片側顔面けいれんに対する神経内視鏡支援微小血管減圧術における外視鏡導入の有用性
—KINEVO・QEVO システムへの移行

山梨大学医学部脳神経外科 吉岡 秀幸

○5-5 外側後頭下開頭手術における QEVO の有用性 — 顕微鏡の死角補完と近接観察の役割 —

神戸大学医学部脳神経外科 魚住 洋一

○5-6 未破裂脳動脈瘤に対する内視鏡下近位部確認を併用した distal keyhole approach

慶應義塾大学医学部脳神経外科 高原 健人

○5-7 脳室内腫瘍摘出術における内視鏡観察の重要性

岡山大学医学部脳神経外科 石田 穰治

○5-8 PitNET における ETSS 後早期の内頸動脈拍動性増加：4D Flow MRI 解析

日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科 築山 敦

O5-9

¹¹¹In-DTPA 脳槽撮影が漏出点特定に有用であった特発性髄液鼻漏の1例

聖マリアンナ医科大学脳神経外科 羽片 創

一般演題6 頭蓋底病変：眼窩と斜台部

16:20 ~ 17:25

座長 岸田 悠吾（東京Dタワーホスピタル）

O6-1

筋円錐内眼窩腫瘍に対する術前解剖評価に基づくアプローチ選択
- 経歯齦・経上顎洞アプローチが奏功した1例 -

慶應義塾大学医学部脳神経外科 藤澤 昌司

O6-2

EMMM を用いて経鼻内視鏡下生検を施行した眼窩内病変の2症例

宇部中央病院脳神経外科 鈴木 悠平

O6-3

内視鏡下経眼窩アプローチによる眼窩内・頭蓋内病変の一次的治療
—蝶形骨縁髄膜腫と眼窩内血管腫の1例—

済生会横浜市東部病院脳神経外科 小島原史大

O6-4

斜台部脊索腫術後頭蓋底再建における吸収性骨接合材の有用性

山梨大学医学部脳神経外科 風間 宙文

O6-5

画像診断に苦慮した頭蓋底脊索腫・軟骨肉腫4例の検討

中村記念病院脳神経外科 渥美 皓介

O6-6

頭蓋底脊索腫・軟骨肉腫に対する集学的治療の現状と課題

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科 藤尾 信吾

O6-7

診断に苦慮した斜台部 Ecchordosis physaliphora の2例

久留米大学医学部脳神経外科 橋本 彩

O6-8

特発性頭蓋内圧亢進の関与が疑われた斜台部特発性髄液鼻漏の1例

熊本大学大学院生命科学研究部脳神経外科学講座 出来田祐治

一般演題7 間脳下垂体系病変：ラトケ嚢胞

17:30 ~ 18:30

座長 石井 雄道（東京慈恵会医科大学脳神経外科）
西村 文彦（奈良県立医科大学脳神経外科）

O7-1

ラトケ嚢胞再発症例に対する手術手技の考察

中部国際医療センター脳神経外科 三輪 和弘

O7-2

ラトケ嚢胞に対する手術戦略の検討

福岡大学医学部脳神経外科 榎本 年孝

O7-3

経鼻内視鏡的ラトケ嚢胞開窓術における嚢胞再発に関連する因子の検討

医仁会 武田総合病院 脳神経外科 池田 直廉

O7-4

術前に頭蓋咽頭腫と鑑別が困難であったラトケ嚢胞

広島大学大学院医系科学研究科脳神経外科学 木下 康之

○7-5 化学性髄膜炎を合併したラトケ嚢胞に対する神経内視鏡下経鼻手術の有用性

産業医科大学脳神経外科 中野 良昭

○7-6 ラトケ嚢胞に対する有茎蝶形骨洞粘膜弁の嚢胞腔内反転留置：
開窓維持と術後髄液漏予防の両立を企図した1例

大阪脳神経外科病院 小野田祐司

○7-7 ラトケ嚢胞術後難治性髄液漏に対しブクラデシンナトリウム（アクトシン）軟膏を用いた局所治療が有効であった1例

福井赤十字病院脳神経外科 取越 貞治

一般演題8 間脳下垂体系病変：症例から学ぶ

14:00～15:15

座長 小松 文成(藤田医科大学ばんだね病院 脳神経外科)
笹川 泰生(金沢大学脳神経外科)

○8-1 トルコ鞍近傍に発生した collision tumor に対し一期的に内視鏡下経鼻的腫瘍摘出術を行った2症例

久留米大学医学部脳神経外科 貞方 創志

○8-2 近接内頸動脈瘤に対して先行塞栓術後に、安全に内視鏡下に摘出し得た PitNET の一例

香川大学医学部脳神経外科 多々納幹貴

○8-3 経鼻的経蝶形骨手術の術後出血で症候性脳血管攣縮を発症した一例

鹿児島大学大学院医歯学総合研究科脳神経外科 菅田 淳

○8-4 穿通枝梗塞を合併した下垂体卒中の1例

福井大学学術研究院医学系部門医学領域脳神経外科学分野 山内 貴寛

○8-5 ACTH 産生 PitNET を背景とした下垂体卒中と考えられた2症例

群馬大学医学部脳神経外科 向田 直人

○8-6 成人視床下部毛様細胞性星細胞腫側脳室進展例に対する経脳室内視鏡手術で亜全摘を得た一例

大垣市民病院脳神経外科 川端 哲平

○8-7 術中視覚誘発電位の低下を認めた PitNET の一例

福井大学学術研究院医学系部門医学領域脳神経外科学分野 川尻 智士

○8-8 熱中症様症状で発症し、急速な視機能悪化に対して準緊急内視鏡手術を施行した下垂体卒中の1例ー地域医療における下垂体卒中へのアプローチー

新潟大学地域医療センター魚沼基幹病院脳神経外科 米岡有一郎

○8-9 下垂体膿瘍と鑑別を要した IgG4 関連下垂体炎の1例

京都府立医科大学脳神経外科学教室 竹内 康浩

一般演題9 水頭症③

15:20～17:00

座長 奥田 武司(近畿大学医学部脳神経外科)
馬場 史郎(長崎大学病院脳神経外科)

○9-1 脳腫瘍治療経過中に発症した Trapped temporal horn に対して Endoscopic Ventriculocisternostomy を施行した2症例

兵庫県立はりま姫路総合医療センター脳神経外科 前山 昌博

○9-2 脳室内腫瘍術後に片側性水頭症をきたした2例

筑波大学医学医療系脳神経外科 渡辺ちひろ

○9-3 神経内視鏡にて原因を特定できた片側性水頭症の2例

東京医科大学脳神経外科 松永 恭輔

○9-4 脳室腹腔シャント術後の片側脳室拡大に対する経透明中隔ステント術

愛仁会高槻病院脳神経外科 別府 滉一

○9-5 新生児脳室内出血に対するVPシャント後に生じた多発孤立性脳室に対し一期的に内視鏡下開窓術を施行した1例

兵庫県立尼崎総合医療センター脳神経外科 尾市 雄輝

○9-6 感染後孤立性第四脳室に対する神経内視鏡下側脳室-第四脳室開窓術：超低出生体重児の1例

福岡市立病院機構福岡市立こども病院脳神経外科 黒木 愛

○9-7 孤立第四脳室を伴う水頭症に対して、第三脳室底開窓術に中脳水道形成術を追加する意義

山口大学大学院医学系研究科脳神経外科 野村 貞宏

○9-8 後頭蓋窩手術後に生じたDisproportionately Large Communicating Fourth Ventricleに対する内視鏡補助下第四脳室腹腔シャントの1例

飯田市立病院脳神経外科 若林 茉那

○9-9 もやもや病による視床出血後の孤立性側脳室に対する神経内視鏡下開通術および脳室心房短絡術の経験

聖路加国際病院脳神経外科 久司 一貴

○9-10 Low-pressure hydrocephalus の治療経験

中通総合病院脳神経外科 畠山 潤也

○9-11 内視鏡下Superior transvelar approachで四丘体槽部嚢胞を第四脳室へと開窓した小児の一例

愛仁会高槻病院脳神経外科 佐藤慎一郎

○9-12 小児水頭症の治療術後、比較的長い経過で成長ホルモン分泌不全症が顕在化した2例

神奈川リハビリテーション病院脳神経外科 林 朋子

一般演題 10 間脳下垂体系病変：術前診断と予後予測

17:05 ~ 18:05

座長 荻原 雅和（東京都立多摩総合医療センター 脳神経外科）

○10-1 下垂体神経内分泌腫瘍に対する経鼻内視鏡下手術戦略を支援する新規画像指標：CSI angleによる海綿静脈洞浸潤予測

神戸大学医学部脳神経外科 藤田 祐一

○10-2 TTF-1 陽性腫瘍の注意すべき臨床的特徴 - 当院で経験した6例のCase series-

千葉大学医学部脳神経外科 石倉 俊喜

○10-3 術前・術中MRIにこだわったクッシング病手術

福島県立医科大学脳神経外科学講座 神宮字伸哉

- 10-4 下垂体神経内分泌腫瘍の摘出率に影響する因子についての検討
岡山大学医学部脳神経外科 小橋 藍子
- 10-5 トルコ鞍部黄色肉芽腫性病変 12 例の外科治療成績
新潟大学脳研究所脳神経外科学分野 岡田 正康
- 10-6 下垂体卒中の臨床的関連因子の検討
群馬大学大学院医学系研究科脳神経外科学 岡野 淳
- 10-7 嚢胞性頭蓋咽頭腫における初回治療選択による治療成績の検討
東京医科大学脳神経外科 中島 伸幸